

各ワーキンググループ等の検討状況等について

I. エゾシカ・ヒグマワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 経過報告

令和元年度エゾシカ・ヒグマ WG の開催概要

●第1回会議

令和元年6月26日（水） 羅臼町 （ヒグマ関係）

※午前中にエクスカージョンを実施：エゾシカ捕獲事業地（SS、囲い罟等）及びヒグマ対策事業地（飼い犬食害現場や水産加工場での電気柵の設置状況等）を確認しました。

令和元年6月27日（木） 羅臼町 （エゾシカ関係）

○主な議題

<ヒグマ関係>

- ・2018（平成30）年度アクションプラン実施結果について
- ・2019（令和元）年度アクションプランについて
- ・モニタリング及び調査・研究について

<エゾシカ関係>

- ・2018（H30）シカ年度実行計画実施結果について
- ・2019（R1）シカ年度実行計画案について
- ・植生等のモニタリングについて

<共通>

- ・長期モニタリング計画の評価項目の評価について

○主な内容

<ヒグマ関係>

- ・アクションプランの「体系的技術訓練」に関して、標津町や羅臼町で人材育成捕獲の実施が報告され、管理の体制づくりの重要性が指摘されました。
- ・河川沿いの町道でのシャトルバス運行に係る社会実験について、地域からの合意を得つつ、遺産の価値を向上させる取組として検討を進めてほしい、との意見がありました。
- ・環境研究総合推進費で3年間実施することとなったヒグマの生息数推定等に関する調査について、期間終了後も長期的な動向把握を行うことが可能な指標等を確立することの必要性について指摘が為されました。
- ・クラウドファンディング等を活用してクマ対策型ゴミ箱を増設し、合計5基となったことが報告されました。
- ・知床半島ヒグマ管理計画の数値目標の多くが達成できていないことについて、現状で実施されている管理対策（捕獲、電気柵や草刈りによる防除、普及啓発等）をいかに推進していくかが今後の検討課題とされました。
- ・ヒグマ人身事故発生時の対応方針（知床半島ヒグマ管理計画対象地域版）（案）につ

いて、警察・消防との調整後、正式版として運用していくことが報告されました。

- ・地域住民や利用者のヒグマ対策意識を高めるための普及啓発の効果が不明瞭なので、彼らへの意識調査の実施とそれを踏まえた結果の評価が今後の課題とされました。

<エゾシカ関係>

- ・令和元年度（R1シカ年度）知床半島エゾシカ管理計画実行計画及び2019（R1シカ年度）エゾシカ捕獲事業計画（隣接地域）が了承されました。
- ・知床半島エゾシカ管理計画（第4期：2022年～26年）に向けた隣接地域における管理方針の見直しについて、スケジュール案が示され、了承されました。
- ・知床岬では、慣れを防ぐという意味でも毎年同じ捕獲対策ではなく他のやり方を検討すべきとの意見がありました。新たな捕獲の選択肢として夜間銃猟と捕獲個体の放置に係る制度上の確認、及び夜間銃猟が実施可能な地域の検討等を行うこととなりました。

<共通（長期モニタリング計画の評価項目の評価について）>

- ・登山道利用による高山植物への影響については、適正利用・エコツアーリズムWGと連携しながら検討することとなりました。
- ・評価項目の評価は、二者択一では困難であるが、論文評価のように個別の項目を5段階評価して、最後に総合評価とすれば可能ではないか、との意見がありました。
- ・二者択一の評価だけではなく、これまでどれだけの労力を割いて対応してきているか、そのプロセスや内容がわかるかたちで示されるべき、との意見がありました。
- ・長期モニタリングについて、メタデータやそのデータがどのような調査で取られたのか、記録を知床データセンターなどにきちっと残していくことが重要、という指摘が為されました。

2 今後の予定

令和元年度エゾシカ・ヒグマWGの開催予定

●第2回WG会議

令和元年12月3日（火）～4日（水） 釧路市

主な議題（予定）

<ヒグマ関係>

- ・令和元年度ヒグマ管理対策結果（速報）
- ・ヒグマ管理計画アクションプランの検討

<エゾシカ関係>

- ・R1シカ年度冬期事業案について
- ・R1シカ年度植生モニタリング事業結果（速報）
- ・隣接地域の管理方針の検討

<共通>

- ・長期モニタリング計画の評価項目の評価について